

「手術をしない選択」は費用削減と再発リスクを考える

治療費を考える上では、「手術をしない」という選択肢についても理解を深めておいたほうがいい。江戸川橋胃腸肛門クリニックの森康治院長の解説。

「基本的には病気の種類や症状に応じて医師が治療法を判断し、患者と相談します。ただし最近の治療薬の進歩によって、手術の代わりに投薬治療を選択するケースが増えています」

手術を回避して、投薬治療を望める代表的な疾患が、虫垂炎や胃潰瘍・十二指腸潰瘍だ。「臓器に穴が空く『穿孔』が生じたら緊急手術をする可能性が高いですが、それ以外は最初に投薬治療をするケースが一般的です。虫垂炎の場合には抗生剤を使用して、胃潰瘍・十二指腸潰瘍には

ピロリ菌を除去する薬を使用するケースが多い」

(前出・森氏)

手術と投薬では治療費はどう変わるのか。虫垂炎の場合は、以下となる。

手術して5日間入院した場合、メインの費用である手術料13万7600円に麻酔費や薬剤料約3万円が加算される。さらに入院費や食事代などを加えた総額は約34万5000円(3割負担で約10万3500円)だ。

一方、手術ではなく投薬治療を選択した場合は、7日間入院しても薬代や検査代、食事代などを合計した総額は約23万5000円(同約7万5000円)で済む。3割負担で比較すると3万円ほどの差となる(図②)。

ただし手術したほうが、予後がよくなる事例が多いことにも注意したい。

② 手術と投薬でお金が大きく変わる

虫垂炎を手術と投薬でシミュレーション(カッコ内は3割負担額)

手術



お金はかかるが再発率が低い!

手術料 (腹腔鏡手術)	13万7600円
麻酔費 薬剤料 検査 機材費	約3万円
入院費 (5日間)	約14万8000円
食事代・雑費	約3万円
合計	約34万5000円 (約10万3500円)

「治療後、1年以内に再発しないことを示す割合を治癒率と言います。虫垂炎の場合、手術の治癒率は90・7%ですが、抗生剤の治癒率は56・4%。治療を選択する際は、こうした数字を踏まえて考えることが必要です」(前

出・森氏)

症状によっても治癒率は異なるので、医師に確認したい。

前出・黒田氏は「自身の事情を考慮して治療法を決めたい」と言う。

「治療にいくらかかるといった経済的な事情のほ

投薬



入院費(7日間包括) 薬代 検査など	約18万5000円
食事代・雑費	約5万円
合計	約23万5000円 (約7万500円)

安く済むが再発リスクも…

かにも、手術後のQOL(生活の質)が不安だったり、単純に家を空けられないから入院できないなど、患者の事情は様々です。そうした事情を医師にきちんと伝えた上で、相談して決めるのがベターでしょう」